

## ペットボトルの排出方法について

### 1. ペットボトル排出方法の現状

○ごみ分別ガイドブック

 **ペットボトル** ●収集日 月2回



●左のマークの表示がある飲料品、調味料品などが対象です。

●ラベルはできるだけはがして、「燃やせるごみ」へ出してください。



●できるだけラベルをはぎ取ってください。ラベルは「燃やせるごみ」へ出してください

●プラスチック製のフタは、「燃やせるごみ」へ出してください



**ペットボトル** には出せません！

・ソースの容器・食用油の容器・洗剤の容器・  
シャンプーの容器

➡ 「燃やせるごみ」へ



軽くすすぐ

できるだけ  
つぶす

○家庭ごみの分け方・出し方

ラベルは、できるだけはがして「燃やせるごみ」へ出してください。

キャップは、必ず取り外して「燃やせるごみ」へ出してください。

## 2. 現状の問題点

### ○弘前地区環境整備センターでの手選別

主に異物の除去とキャップの取り外しが行われており、手選別作業の中でラベルをはがすことは困難です。



### ○圧縮・こん包(ベール化)されたペットボトル

ラベルが多く付いた状態で再商品化事業者へ引き渡されています。



○ベールの品質調査の結果

再商品化事業者へ引き渡したベールは、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会(以下「容リ協」)が実施する品質調査を受けます。

現在、弘前地区環境整備事務組合から再商品化事業者へ引き渡したベールの品質調査では、総合判定結果は「Aランク」判定となっておりますが、調査項目「再商品化に影響を与えるPET ボトル類」の「容易に分離可能なラベル付きPET ボトル」において、混入率 30%超の最低評価である「Dランク」判定となっております。

項 目		参 考
ベ ー ル 状 態	① 外観汚れ程度	外観の汚れがないこと
	② ベールの積み付け安定性	荷崩れがないこと
	③ ベールの解体性	解体が容易であること
与 え る P E T ボ ト ル 類	④ キャップ付きPETボトル	10%以下
	⑤ 容易に分離可能なラベル付きPETボトル	10%以下
	⑥ 中身が残っているPETボトル	1%以下
	⑦ テープや塗料が付着したPETボトル	なし
	⑧ 異物の入ったPETボトル	なし
夾 雑 異 物	⑨ 塩ビボトル	0.5%以下
	⑩ ポリエチレンやポリプロピレンのボトル	0.5%以下
	⑪ 材質識別マークのないボトル	1%以下
	⑫ アルミ缶、スチール缶	なし
	⑬ ガラスびん、陶磁器類	なし
	⑭ 紙製容器類	なし
	⑮ その他夾雑物	なし

○品質調査結果への容リ協の対応

A:再商品化に差支えがないため引き取り継続

→品質の維持を要請

B:再商品化に若干問題を生じる可能性があるが引き取り継続

→A ランク以外になった項目の品質向上を要請

D:再商品化に支障が生じる可能性があるが、当面、引き取りを継続

→改善計画書の提出及び改善の実施を要請

⇒今後、品質基準が見直される可能性もあり、早期の改善が必要

### 3. ペットボトル排出方法の変更

#### ○家庭ごみの分け方・出し方

ラベルは、できるだけはがして「燃やせるごみ」へ出してください。

⇒ラベルは、必ずはがして「燃やせるごみ」へ出してください。

※ラベルの分別区分は、プラスチック資源一括回収開始に合わせ  
「燃やせるごみ」から「プラスチック類」などに変更する予定

※ごみ分別ガイドブックについては、プラスチック資源一括回収開始  
など分別区分が大きく変わるタイミングで改めて発行する予定

#### ○変更時期

令和5年4月1日

#### ○周知方法

なごみ生活、広報ひろさき、ホームページ、ごみ収集アプリ

なお、実際の収集開始にあたっては、しばらくの間経過措置を設けるなど、出し方変更の浸透状況に合わせて緩やかに適用していくことを想定しており、今後収集運搬事業者と調整していきます。